性的少数者（セクシュアルマイノリティ）に関するアンケート

１　調査の目的

伊那市における、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）に関する認知度や意識を調査し、今後の施策への資料とする。

２　調査対象

市内在住の20歳以上の男女各150人（計300人）を年代別に均等に抽出（「男女共同参画に関するアンケート」と同時実施）

３　調査期間

平成30年12月17日から平成31年1月15日

４　調査方法

郵送による配布・回収

５　回収状況

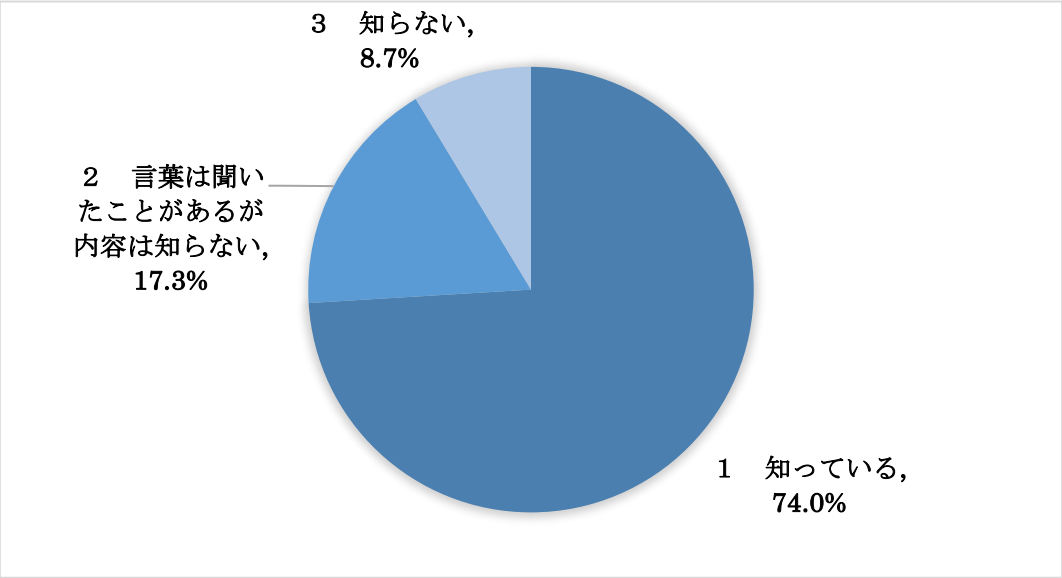
配布数	有効回収数	有効回収率
300通	108通	36%

６　その他

集計結果の数値を、小数点以下第２位で四捨五入しています。

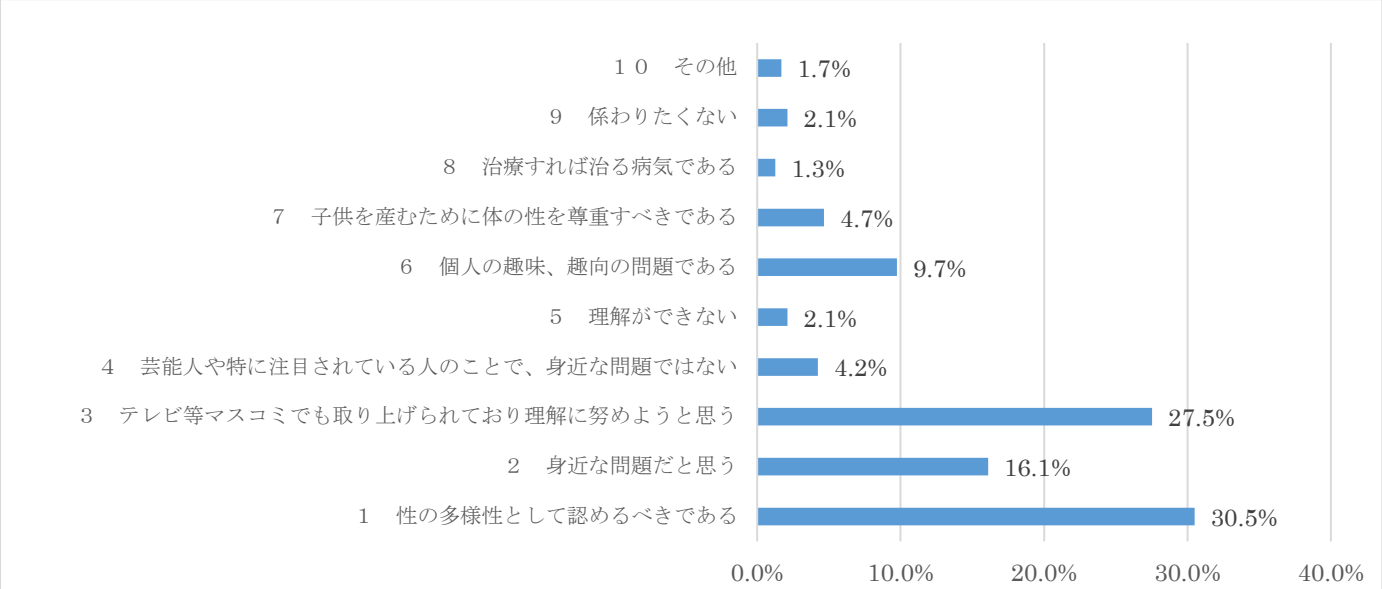
７　調査結果

問１　あなたは「性的少数者」または「LGBT」という言葉（どちらか一方でも）を知っているか、または聞いたことがありますか。



＊「知っている」という回答が７割を超えています。

問２　性的少数者についてどのような考えや、イメージをお持ちですか。３つまでお選びください。



その他記載

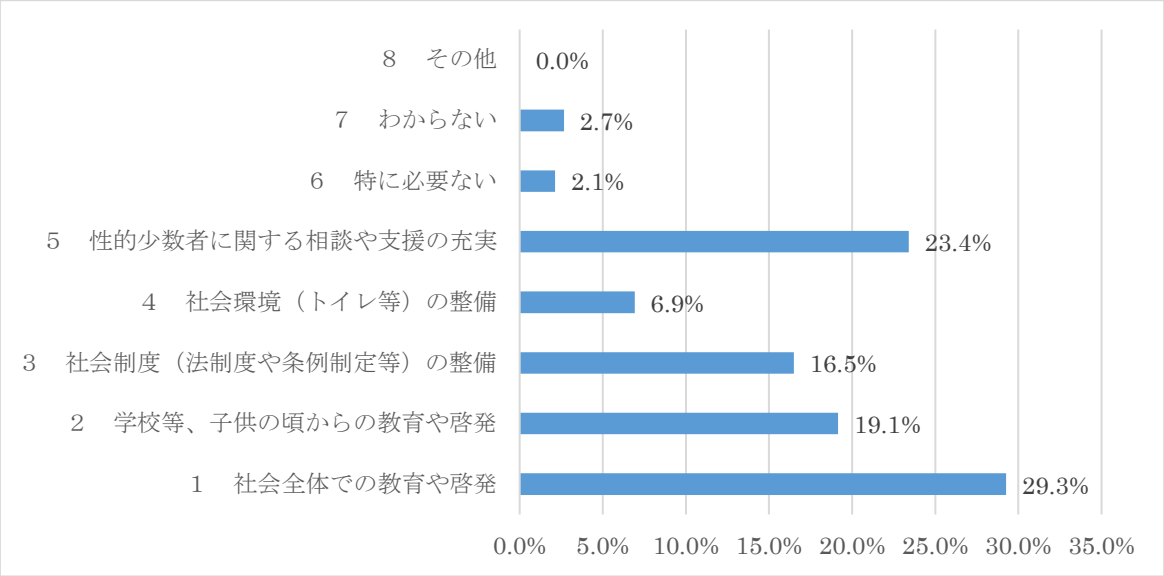
・子供（ノーマル）の友人にＬＧＢＴの子達がおり、隠すことなく社会人として立派に仕事もしており、精神的にも尊敬できる人たちで、私は分け隔てることはないと感じている。

・この問題についての本を読む機会ドラマを見る機会があり、人間としてお互いを尊重し、信じあえる関係であれば、いろいろな生き方があっていいと思える気持ちが強くなりました。

・トランスジェンダーは理解できる

＊性の多様性として認めるべき、理解に努めるとした回答が多い一方、個人の趣味・趣向である、身近な問題ではないと考えている人もいます。

問３　性的少数者の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。２つまでお選びください。



＊社会全体や、子どもの頃からの教育や啓発、相談や支援の充実が上位となっています。